

第1回施設管理研修会 (病院の省エネルギー対策)

●日時 令和6年7月30日(火) 13:30~16:25 ●開催方法 Web開催 ●出席者 19病院21名・委員14名

講演Ⅰ 診断から始まる医療機関向けエネルギーマネジメントのススメ

講師 株式会社スターメンテナンスサポート 栗野 貴宏 代表取締役



○省エネクイック診断について

省エネ対策はやり尽くしたと思っても、職員の引継不足や思い込みによる抜けが意外と多く、改めて「現状把握」から運用改善、投資改善につなげていくための省エネクイック診断について、事例に伴う診断報告書などによる解説があった。例えば、運用改善では空調フィルターの清掃、温度設定の見直し、投資改善では人感センサーによる照明制御などの導入、変圧器の更新など。費用については、環

境省の補助金活用により1割負担で可能となること、また同診断が加点要件となる設備投資補助金などが紹介された。

○非常用サブ電源としての小型発電機について

多くの病院で非常用発電機が導入されているが、BCP対策やスマホ充電など最近の状況に対応できていない場合もあり、移動可能な小型非常用発電機の導入について具体例を伴った紹介があった。

講演Ⅱ PPA(太陽光第三者所有モデル)とEV導入による省エネについて

講師 岡山ガス株式会社 エネルギー開発部 都市エネルギーグループ 山村 純也 グループ長



○PPA事業について

太陽光発電設備の導入に伴うPPA(電力販売契約)事業について、取り組みが紹介された。具体的にはパネルの設置方法、契約期間(概ね20年程度)、自家消費(売電契約がない場合はパワーコンディショナーでの出力調整も可)による電気代節約やCO₂排出量削減などの導入メリットに関し、検討の目安となるモデルケースによる単価設定などの試算等とあわせて解説があった。

○EV関連事業について

同社が取り組むリース方式でのEV(電気自動車)導入ワントップサービス事業について、EVの選定、充電器設置に伴う工事業者の手配や電気契約などを同社が一手に引き受けることにより、導入時の手間とイニシャルコストの低減が図れること、「動く蓄電池」としてBCP対策にもつながることなどの解説があった。

(施設管理委員 三宅伸幸)